

令和8年度 福井県立清水特別支援学校 スクールプラン

業務改善のための取組

- ・校内DX化を推進し、業務の円滑化・スピードアップを図る。
- ・資料の事前配付や議題の精選に努め、各自が会議内容の事前把握を心掛けて、効率的な会議運営を行う。
- ・ホームページ、Google forms、RAKUMEの活用によって、家庭への連絡・調査のペーパーレス化や速やかな情報の発信・収集を推進する。

人権教育の推進

- ・計画的な校内研修や動画視聴を通して、人権に関する知識を深め、高い人権意識に基づく適切な言動を徹底する。
- ・児童生徒の個性や特性を理解し、教職員が手本となって自分も他者も大切にする心情を育み、子どもたちの自己肯定感を高める。
- ・いじめ防止を図り、豊かな人間関係の中で道徳的な心情を育む。

センター的機能の充実

- ・個に応じたよりよい支援の在り方を共有し、校内外の研修等を通して、特別支援教育に関する専門性を高める。
- ・特別支援学校の専門性を地域支援にいかす。
- ・地域の特別支援教育の状況を把握し、特別支援学級関係者に向けた効果的な研修を行ったり助言したりする。

重点目標

1 教育課程・学習支援

一人ひとりの障がい特性に合わせた個別最適な学びの実現を目指す。

2 児童生徒支援

児童生徒が安心安全な学校生活を送るための防災防犯教育を行う。

3 進路支援

児童生徒や保護者のニーズを把握し、個々の実情に即した進路を検討しながら進路実現に向けた支援を行う。

4 学校保健

児童生徒の健康な生活の維持・向上に努め、健康への意識・理解の向上を図る。

5 交流及び共同学習

学校間交流・居住地校交流・地域との交流を通して共生社会の礎を築く。

具体的取組

- α 学習指導要領等のねらいに即した3つの観点に沿って授業計画や個別の指導計画を作成し、授業づくりに取り組み、評価を図る。

目標：丁寧な実態把握を行いながら、学習指導要領のねらいに即した3つの観点に沿って、指導計画を作成し、授業づくりを行い、評価する。

80%以上

具体的取組

- α 教職員が訓練や研修を通して危機管理の意識を高め、個々の役割を理解するとともに、児童生徒が防災や防犯に対処する力を伸ばすための学習や訓練を行う。

目標：地震や火災などの訓練やその事前・事後学習を通して、児童生徒が自分の身を守るための基本的な知識・技術や緊急時の対応方法を身に付けるよう指導する。

80%以上

具体的取組

- α 進路希望調査や説明会、学習会、事業所見学など進路関連行事のほか、生活や学習活動など学校生活のあらゆる場面で児童生徒の高等部卒業後の生活を意識した支援を行う。

目標：児童生徒の高等部卒業後の生活を意識しながら日々の支援に当たる。

80%以上

具体的取組

- α 全校または各学部で計画的に手洗いやうがい、マスク着用などの必要性について指導を行う。また、強化週間を随時取り入れ感染予防を意識できる期間を設ける。

目標：児童生徒が手洗いやうがい、マスク着用などを必要に応じて行えるように年間を通して指導を行う。

80%以上

具体的取組

- α 交流実施の前後に学級や学部全体で検討、振り返りを行い、モデルとなる取り組みを進める。

目標：交流及び共同学習において、児童生徒が自分らしく活動するために必要な支援を行う。

80%以上